

第 8 回 武蔵野市図書館運営委員会 議事要録

日 時 令和 3 年 5 月 31 日（月） 午後 5 時 30 分開会 午後 7 時閉会

場 所 武蔵野市立中央図書館視聴覚ホール（一部委員はオンライン参加）

出席者 委員 7 名

船崎委員長、赤羽委員、雨宮委員、桂委員、清水委員、松山委員、
四ッ谷委員

事務局 9 名

目澤図書館長、木谷吉祥寺図書館長、盛田課長補佐、前田課長補佐、
秋庭係長、荒木係長、岡野係長、吉富主任、林主任

内 容 1 報 告

（1）緊急事態宣言中の図書館の状況について

2 議 題

（1）第 7 回議事要録（案）の確認について（資料 1）

（2）図書館の運営について（資料 2）

- ・令和 2 年度図書館事業評価
- ・令和 3 年度図書館事業目標

（3）重点取組に関する目標（資料 3）

<開会>（午後 5 時 30 分）

【司会】

第 8 回武蔵野市図書館運営委員会を開会する。まず、傍聴について諮る。本委員会は傍聴基準に基づき、会議を公開している。傍聴者が来た場合には、基準に基づき傍聴を許可している。傍聴について承認いただきたい。要録については、図書館ホームページで公開する。

これ以降は委員長に議事進行をお願いする。

【委員長】

それでは、まず報告事項について、事務局から報告をお願いしたい。

1 報告

(1) 緊急事態宣言中の図書館の対応について

【事務局】

本日5月31日、緊急事態宣言の6月20日までの延長が決定した。それに伴い、図書館の運営についても、6月20日まで現状継続することを決定した。

4月25日の緊急事態宣言発出以降の来館者数は、宣言発出以前と比べて週当たり平均8,000人減、割合にして217%減となった。人流抑制としては、ある程度効果があったと考えている。

ただし、図書館としては来館者数が減ったこと自体は寂しいことである。できるだけ早く、多くの方に来館していただける状況に戻ることを願っている。

【委員長】

このことについて、意見等はあるか。

意見等がないようであるため、次に議題に進む。事務局から説明をお願いしたい。

2 議 題

(1) 第7回議事要録(案)の確認について(資料1)

【事務局】

資料1をご覧いただきたい。今回の運営委員会で確認いただきご承認をいただければ、委員会終了後にホームページで公開したい。

【委員長】

このことについて、意見等はあるか。

意見等がないようであるため、次の議題に移る。図書館の運営について事務局から説明をお願いしたい。

(2) 図書館の運営について(資料2)

- ・令和2年度図書館事業評価
- ・令和3年度図書館事業目標

【事務局】

資料2について、前回の内容を踏まえ運営委員会からのコメントを追記している。順に説明していく。

(1「利用困難者に対する配本サービスの提供」について説明)

【委員長】

このことについて、意見等はあるか。意見等がないようであるため、次の項目に移る。

(7「図書館情報システム更新時における情報発信力の向上」について説明)

【委員長】

このことについて、意見等はあるか。

【事務局】

前回、「SNS上でのバーチャルな読書のコミュニティ形成」について委員会からご意見をいただいたが、具体的にはどのようなものを想定されているか。

【委員】

市民のコミュニティを作るバックボーンがあればよりよいと思いい見を付した。SNSによる情報発信が、一方通行なものであれば物足りないと感じている。たとえば、ビブリオバトルや生涯学習等のコミュニティ、映画会における双方向のやりとりを行える環境を想定している。

【事務局】

双方向の情報発信は意識していきたい。

【委員】

「図書館が先導してコミュニティを形成する」というよりも、市民が自然発生的にコミュニティを形成した場合に、図書館が受け入れる、関わるということをイメージしている。

【委員長】

ほかに意見はあるか。ないようであれば次に進む。

(9「防犯カメラの充実」について説明)

【委員長】

このことについて、意見等はあるか。

【事務局】

前回、委員会から「自由の確保という観点から、防犯カメラの増設以外の方法による安全管理」というご意見をいただいた。

【委員】

防犯カメラのみではなく、入館時に挨拶する、声をかける等の対応も不正行為等の抑止につながると思われる。防犯カメラとあわせて、防犯カメラ以外の方法による安全管理を実施していただきたい。

【委員長】

ほかに意見はあるか。ないようであれば次に進む。

(35「学校教育を支援する資料の収集・整備」について説明)

【委員長】

このことについて、意見等はあるか。ないようであれば次に進む。

(60「市民活動団体に対する支援」について説明)

【委員長】

このことについて、意見等はあるか。

【委員】

「市民活動団体からのレファレンス案件がなかった」ということだが、レファレンスサービスのイメージが固くなっているように感じられる。「漠然とした目的でも対応してくれる」、ということを広められたらいいと思う。

【委員】

一般的には、「レファレンス」という言葉自体に馴染みがない。たとえば、小学生が夏休みの宿題や自由研究等で、「学校でこういう宿題が出たんだけど、どうい本を調べたらいいか」と図書館に質問することもレファレンスである。

ホームページで「こういう調べものの相談を受けます」等のPRを行った方がいいのではないか。

【事務局】

「レファレンス」という言葉自体が専門用語であるため、利用者にわかりやすいよう図書館からの伝え方を工夫していきたい。

【委員】

加えて、「こういうときに図書館をこう使うといい」というPRをするのではないか。他の自治体では、図書館のサービスを漫画にして紹介している図書館もある。発信の仕方次第で、もっと使ってもらえる可能性がある。特に市民活動団体であれば、よりレファレンスサービスを使えるようになると思われる。

【委員】

以前、ひな祭りの時期に、図書館職員に対して、「ひな祭りの文化を子どもに伝えられる本はあるか」と聞いたことがあるが、その職員は利用者と同じように検索機で検索し、ヒットした図書を紹介してきた。そのようにならないよう、レファレンス対応ができる職員やレファレンスサービスにつなげられる職員が必要ではないか。

【事務局】

今回いただいたご意見を盛り込み、改めて修正した内容を、後日ご確認いただきたい。

【委員長】

ほかに意見はあるか。ないようであれば次の議題に進む。事務局から説明をお願いしたい。

(3) 重点取組に関する目標（資料3）

(3-1 (1)「すべての人への適切な読書環境の提供と読書支援の実施」について説明)

【委員長】

このことについて、意見等はあるか。ないようであれば次に進む。

(3-1 (2)「レファレンスの強化と普及」について説明)

【委員長】

このことについて、意見等はあるか。

【委員】

レファレンスカウンターで十分とは言えない対応をされたという経験はよくある。利用者から見れば、カウンターにいる人は「情報のプロ」に見える。レファレンスについて、職員全員のレベルを一定以上しておく必要がある。それがレファレンス利用の増加につながるのではないか。

【委員】

レファレンス対応する職員のスキルを上げるには、レファレンス件数を増やすことも必要である。図書館として、これまでにどのような取り組みを行っているのか。

【事務局】

レファレンスに関する研修は年に2回実施している。研修内容を工夫していきたい。

【委員長】

ほかに意見はあるか。ないようであれば次に進む。

(3-1 (3)「蔵書方針の見直し」について説明)

【委員長】

このことについて、意見等はあるか。

【委員】

「歴史館との分担を確認した」とのことだが、歴史館に所蔵している資料も図書館で案内し、図書館にある資料も歴史館で案内しているのか。案内しない場合、利用者からすると「図書館にない資料は武蔵野市にない」、「歴史館にない資料は武蔵野市にない」と思ってしまう。「分担し公開実施している」と言えないのではないか。すでに案内を行っているのであれば、そのことをPRしてい

く必要があるのではないか。歴史館でいい企画を実施しているため、資料面でもより多くの利用者に知ってもらういい機会になるのではないか。

【事務局】

ご意見を踏まえると評価を「A」とはできない。分担については、利用者が手に取れるようなものは図書館で、学芸員の研究成果や古文書の展示等、利用者が手に取れないようなものは歴史館で、というスタートラインに立った状況である。今後は、それぞれがどのような資料を所蔵し、利用者が求める資料を提供できるような仕組みを整えていきたい。

【委員長】

蔵書方針の策定については、図書館ホームページで見られるのか。

【事務局】

見られる。

【委員長】

ほかに意見等はあるか。ないようであれば次に進む。

(3-1(4)「情報発信力の強化」について説明)

【委員長】

このことについて意見等はあるか。ないようであれば次に進む。

(3-1(5)「専門人材の育成・強化」について説明)

【委員長】

このことについて意見等はあるか。

【委員】

「テーマ展示を行い、多くの利用を得た」とあるが、具体的にどのような指標に基づき「多くの利用」と判断したのか。

【事務局】

毎回テーマが異なるため、一概に比較できるものではないが、期間中の貸出件数については、展示期間終了後に、確認している。

【委員】

展示により「効果があった」と言えるような仕組みがあるといい。たとえば、アンケート用紙を用意し、利用者からフィードバックしてもらおう等を行ってはどうか。

【委員長】

ほかに意見等はあるか。ないようであれば次に進む。

(3-2(1)「地域課題解決支援の強化」について説明)

【委員長】

このことについて、意見等はあるか。

【委員】

「0123 施設等の子育て支援施設へのブックポスト設置の検討」について、子連れの利用者にとっては、図書館で本を返却してから、子育て支援施設に行くことが大変である。検討だけではなく、ぜひ実施をお願いしたい。

【委員長】

ほかに意見等はあるか。ないようであれば次に進む。

(3-2(2)「市民への適切なサービス提供」について説明)

【委員長】

このことについて意見等はあるか。ないようであれば次に進む。

(3-2(3)「中央図書館の役割の明確化と運営」について説明)

【委員長】

このことについて意見等はあるか。ないようであれば、本日の議題については終了する。

本日は今期最後の運営委員会となるため、最後に各委員からご挨拶いただきたい。

(各委員挨拶)

【司会】

以上をもって、第8回図書館運営委員会を閉会する。

<閉会>（午後7時）